

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成31年度（2019年度）第1回（定例会）

署名人 本 仲 範 男

教育長 田 端 一 正

開催日時 平成31年（2019年）4月10日（水）

開会 午後2時00分

閉会 午後2時48分

開催場所 那覇市役所10階 1001会議室

出席者

〔教育長・教育委員〕

田端一正教育長、本仲範男委員、比嘉佳代委員、喜屋武裕江委員、平良浩委員

〔事務局職員〕

【生涯学習部】山内健部長、田端睦子副部長

（総務課）仲程直毅課長、平良美夏副参事、平良俊弥主査、平安真希子主査

【学校教育部】奥間朝順部長、森田浩次副部長

（学校教育課）佐久田悟課長

議事日程 ※日程2は非公開案件に該当

- 1 報告1 那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について

【総務課】

- 2 議案2 平成31年度那覇市一般会計補正予算（6月補正）に関する意見の申し出について

【総務課】

- 3 議案1 那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について 【総務課】

会議録作成（総務課）平良俊弥主査

田端教育長 ハイサイ、平成31年度第1回教育委員会会議（定例会）を始めたいと思います。
よろしく願いいたします。本日の会議録署名は本仲委員にお願いしたいと思います。
よろしく願いします。

本日は報告が1つ、議案が2つとなっていて、いずれも総務課の案件になっております。では第1回教育委員会会議を進めていきたいと思います。それでは、報告1からいきたいと思います。報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」の説明をお願いいたします。山内生涯学習部長、お願いします。

山内部長 報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」、みだしのことについて別紙のとおり報告する。平成31年4月10日提出。
教育長 田端 一正。報告理由でございます。那覇市議会平成31年2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況を報告します。説明は総務課の方から行います。

田端教育長 仲程総務課長、お願いします。

仲程課長 それでは、この資料に基づき説明します。まず、議決された議案について説明をいたします。お手元の資料の36ページをお開きください。議決議案送付書になっておりますけれども、その右側の方に太線で書き込みがございます。議案第12号と議案第13号が教育委員会に係る案件でございます。これらの議案については、議会に送付する前に教育委員会会議でも審議をしておりますので、概要を簡単に説明いたします。37ページの左手ですね。議案第12号「那覇市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について」ですけれども、これは那覇市学校給食運営審議会という附属機関を設置するものですが、当該審議会では学校給食運営の全般、例えば学校給食に関する基本方針とか、学校給食費額の決定・改定とか、学校給食費の予算・決算などについて調査・審議するということになっております。続きまして39ページ、議案第13号「那覇市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例制定について」ですが、高良学校給食センターの設置に関することと、所要の規定の整備を行うためのものがございます。付則部分において、高良学校給食センターの施行日は規則で定めることとされております。この規則というのは教育委員会規則でございます。まだ規則は制定されておられませんけれども、給食提供は1学期後半、8月26日に予定しているとのことでございました。以上が2月定例会における議案議決の説明でございました。

表紙に戻りまして、2ページほど捲っていただきますでしょうか。課別答弁状況一覧をご覧ください。2月定例会では代表・一般質問を合わせまして、38件の質問が出ておりました。課ごとに質問内容を簡単に説明いたします。まず一番上の方から、生涯学習課には、こどもの貧困対策の一つとして学校以外の場所におけるキャリア教

育、活き活き人材育成支援施設の開館に向けた今後の取り組み、な一ふあぬわらび・わかむん計画の見直しについての質問がございました。キャリア教育につきましては、市長部局からも貧困の連鎖から抜け出すための方法として有効な手段であるとの答弁をしております。次に市民スポーツ課には、児童生徒県外派遣補助金、それから奥武山公園サッカースタジアム整備に関する質問がございました。サッカースタジアム整備についてはリーダーシップを持って取り組んでほしいという主旨から、その取り組み状況についての質問があったということでございます。続きまして施設課でございますけれども、城東小学校体育館耐震化の取り組み、学校施設長寿命化計画の策定、小緑小学校屋外倉庫等建設事業、それから砂ぼこりによって近隣住民へ迷惑をかけているのではないかという主旨から小中学校のグラウンドの状況に関する質問がございました。続きまして中央図書館には、市立図書館の現状と市内書店数の推移についての質問がございました。続きまして質問が一番多いのが学校教育課ですね。23件ございました。教職員の働き方改革あるいは負担軽減に係るものとして6件ほど、フッ化物洗口に関するもので2件、その他人権問題としての拉致問題に関する教育、台湾を中学校の修学旅行先とすることはできないかということ、新学習指導要領、学校の避難訓練に関する事など合計23件の質問がございました。教育相談課には、子ども寄添支援員の概要と効果についての質問がございました。学務課につきましては、中学校入学前の学用品費の支給に関するものと、学校図書館の現状に関する質問がございました。学校図書館の現状につきましては、学校間における蔵書数がバランスを欠いているのは良くないのではないかという主旨からだったと思います。教育研究所にはICT教育関連としてのアクティブラーニングとプログラミング教育の取り組み、そしてICT支援員の導入についての質問でした。それぞれの詳細につきましては、1ページから35ページに添付しております。説明は以上になります。

田端教育長 ありがとうございます。では、この件について、ご質問、ご意見ありましたらお願いしたいと思います。まず、資料の方をご覧くださいと思います。はい、本仲委員、どうぞ。

本仲委員 1,2ページの修学旅行先についてなんですけど、中学校の修学旅行の旅行地として台湾を選定することは可能となっていますということですが、これは外国になるんですよね。高校では聞いたことがあるんですが、中学校でもそういう可能性があるのかなと思ひまして、もしできるんだったら、やっぱり外国を見せるのも良い経験じゃないかなというようなことは感じました。ただ一つネックがあるのは引率者の数ですよね。この辺はちょっと気にはなります。

田端教育長 この辺の経緯を奥間学校教育部長、お願いしたいと思います。

奥間部長 通達上は海外もできるんですよ。本仲委員がおっしゃったように、以前は台湾の方にも高校辺りがだいぶ行ったことがあったようです、そこである事故が起きて、

その事故の後には、なかなか行けないような状況です。修学旅行というのは、やっぱり旅行先での安全性とか、あるいは費用の面とか、後は、さっきおっしゃった引率の件とか、諸々の条件がありますので、そういう条件をクリアしたうえで、保護者の同意とかそういったものがあれば可能ですよ、というお話をしました。

本仲委員 県の出している引率基準については、ちょっと無理があるなという感じがします。

田端教育長 よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

本仲委員 もう一点よろしいですか。

田端教育長 はい、本仲委員、どうぞ。

本仲委員 グランドの砂ぼこりの件ですが、これは教育委員会の方でどうこうという話ではないと思うんですが、那覇中学校に運動会を見に参加したことがあるんですよ。そして那覇中はですね、プログラムの中に「散水」というのがあって、スプリンクラーでやっているんですよ。これが凄いの。プログラムの中で組み込んでも良いんじゃないかなというくらい。凄く良いんですよ。そしてちょっとこれ聞いてみたら、これはPTAがやっていると。砂ぼこりがひどいという学校がありますよね。教育委員会から助言はできませんが、こういう場合にPTA予算というのは、学校にとってはとても助かるんですよ。陸上競技大会の時のスパイクであるとかね。いろんな所でPTAの人達の協力は凄くありがたいなと思っているんです。那覇中もその一つじゃないかなと思っていますね。

田端教育長 奥間部長、いかがでしょうか。

奥間部長 その時、私、那覇中学校にいました。周年行事の一環で設置をしたものなんですね。当初はスプリンクラーと道沿いに桜の並木を作ろうということだったんですが、桜並木はやめて最終的にはスプリンクラーの方を付けました。これはやっぱり周年行事で、ある程度お金が集まった上でのことですので、相当、お金がかかった覚えはあります。この間、那覇小学校でしたか、那覇小学校は那覇中学校みたいな大きなものでなくて簡易的なものがありましたよね。あのようなものはできるのかなという思いはします。ただ、やっぱり水道のお金とか、そういった諸々が出てきますので。

本仲委員 水道代とかそういうものはたいしたことじゃないかと思いますがね。

田端教育長 この辺は予算が絡むことがありますので、PTA予算の有効活用ということではありますが、タイミングを見てという形になります。

本仲委員 ちょっと休憩をお願いします。

田端教育長 休憩します。

～ 休憩 ～

～ 再開 ～

田端教育長 再開いたします。他にご意見、ご質問等ありましたらお願いします。はい、比嘉委員、どうぞ。

比嘉委員 9ページの方なんですけど「子どもの見守りについて」ということで、学校の家庭訪問が那覇市内は凄くバラバラな感じがするのですが、これは統一されている基準とかがないのか、それとも学校が決めるということにしているのか、ちょっと教えていただければと思います。

田端教育長 奥間学校教育部長、お願いします。

奥間部長 家庭訪問については学校の行事になりますので、学校の方で判断をして行うということになっています。授業時数確保ということで家庭訪問を無くすとか、あるいは玄関先で終わってしまうという部分もありました。以前は、ほとんどの学校はやっていましたけれども、今はほとんどの学校ではなくて、ある程度限られた学校がやっている状況であります。学校の工夫で、ある中学校は家庭訪問を無くす代わりに、4月に保護者に来てもらって3者面談をするという形で、それが無理であれば7月にやるという形でやっているところもあります。中学校はそれで済むかもしれませんが、小学校が少しその辺は懸念する部分はあります。小学校は今、家庭訪問はやっているところが多くなって来ているとは思いますが。

田端教育長 これでどうでしょうか。

比嘉委員 やっぱ家庭訪問で家庭の状況がわかったりするので、あった方が良いなというのはよく保護者から聞くので、できれば全学校でできるようになったら良いなと思いました。

田端教育長 家庭訪問をして家庭の状況を把握するというのは、特に低学年ほど必要性が高いかなと感じます。要は学校が、家庭の状況を把握するために、保護者と面談をするというのが一番大事なことであります。はい、他にありますでしょうか。はい、喜屋武委員、どうぞ。

喜屋武委員 33ページの市内小学校の図書館のお話についてなんですけど、蔵書数が一番多い学校と少ない学校の差が8,000冊位ありますという話がありますが、これの理由を教えていただきたいということと、後はその差を埋めるために何か予算措置とか手立てがあれば教えていただきたいと思います。

田端教育長 奥間学校教育部長、大丈夫ですか。補足は、また後程お願いします。

奥間部長 法律で定められている冊数はほとんどの学校はクリアしています。それとPTAの予算で本を購入している学校もあってですね。そういう部分で差が出てくると部分があるということです。そしてもう一つ、きちんと蔵書の点検とかをして、古い本を廃棄して新しい本を入れている学校もあれば、逆にずっとそのまま置いていて、蔵書だけが増えるという学校もあったりします。このあたりの差が出ているだろうなということですね。

田端教育長 森田副部長、何かありますか。

森田副部長 学校予算は、学務課の方で学校ごとに児童生徒数に応じて割振りをして対応してい

るところです。奥間学校教育部長からありましたように、ほとんどの学校は、今、文部科学省が出している蔵書基準を満たしていて、大体150%から200%くらいの水準であるということです。ただ、1校だけ、天久小学校がまだ開校間もないものですから、500冊程足りなかったのですが、平成31年度予算でクリアする予定であります。

田端教育長 喜屋武委員、いかがでしょうか。

喜屋武委員 はい、大丈夫です。

田端教育長 他にございませんでしょうか。

喜屋武委員 休憩をお願いします。

田端教育長 休憩します。

～ 休憩 ～

～ 再開 ～

田端教育長 再開いたします。他にご意見、ご質問等ありませんか。平良委員、どうぞ。

平良委員 3ページの「性の多様性を尊重するまちづくりについて」という質問の回答の中で、昨年度策定した指針の中に支援をするための内容を明記していきたいということなんですけれども、この指針というのは毎年出すのでしょうか。

田端教育長 この辺の説明も含めて、森田副部長をお願いします。

森田副部長 学校教育課の方から、「学校におけるLGBTへの配慮に関する指針」というものを出しております。その中でこういった制服の選択についても明記していこうということでございます。

平良委員 この指針は毎年出るのですか。

森田副部長 一昨年出して、改定で制服の部分について明記をしていくということになりました。

田端教育長 平良委員、いかがでしょうか。何か、ご意見もありますか。大丈夫ですか。補足で説明をお願いします。

奥間部長 実は、この制服の選択制というのは、今、高校の方が、いろんなことで生徒を中心にやっています、また、中学校においても、そういう自分の性の悩みを持った子ども達がおります。実際に、ある学校にそういった子がいて、その子の場合は本人と保護者と学校側とで確認をしながら、制服の選択というのをやりましょうという形で実際にやっている学校がありました。それと県の方からも調査がありました。その調査の中で、この制服の選択制を導入している学校、あるいは今後導入したい学校という調査がありました。那覇市では、今後実施したいという学校が3、4校くらいありました。後、「環境を整えば」という学校も複数校ありました。那覇市はレインボー宣言をしておりますので、それも踏まえて、こういうものを選択しやすいよう明記しましょうという形で答弁はしております。

田端教育長 よろしいでしょうか。それでは、他にございますか。喜屋武委員、どうぞ。

喜屋武委員　今のことにして教えていただきたいんですけど、制服の選択についてなんですが、女子の制服とか男子の制服とかありますが、最近、他府県では、どっちでもいいスラックス型みたいなものもあるんですけど、こういうことも検討とかもされるんでしょうか。

田端教育長　奥間学校教育部長、どうぞ。

奥間部長　この指針の中でも段階を踏んでやってくださいとしています。特に制服は、学校で決めるということになっていますから、保護者の意見とか、あるいは生徒たちの意見とか、地域の意見も反映しながらやっていきます。現状では、どっちかというと男子は学ランかブレザーとなっていて、ブレザーであればどっちでも構わないと思うんですよね。ただ、学ランだと女子の方はセーラー服となりますので、すぐには変えられませんよということで、この辺は学校の状況に応じて変えてくださいという形で表現をしております。

喜屋武委員　わかりました。

田端教育長　よろしいでしょうか。他にありますでしょうか。大丈夫でしょうか。それでは、他にご意見、ご質問がないということでもありますので、報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」は、終了いたします。

続きまして会議の非公開について諮りたいと思います。議案第2号は予算に関する案件であるため、非公開とすることが適当であると思われまふ。議案第2号を非公開としてよろしいでしょうか。

全員　異議なし。

田端教育長　ありがとうございます。それでは非公開といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

～ 非公開 ～

田端教育長　非公開を解きます。続きまして議案第1号「那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について」を議題といたします。山内生涯学習部長、お願いいたします。

山内部長　議案第1号「那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について」、那覇市教育事務点検評価委員会の委員を別紙のとおり委嘱する。平成31年4月10日提出。教育長 田端 一正。提案理由 那覇市教育事務点検評価委員会の委員の任期満了に伴い、新たに委員の委嘱をする必要があるもので、那覇市教育事務点検評価委員会規則第3条の規定に基づき、この案を提出する。説明は総務課が行います。

田端教育長　仲程総務課長、お願いします。

仲程課長　1ページをご覧ください。今回、5名の方を委嘱いたします。任期は平成31年4月22日から平成33年4月21日までの2年間でございます。1番目から4番目の崎原 永輝氏、土屋 由美子氏、伊波 就子氏、我那覇 生治氏につきましては、再任ということで2期目となります。5番目の池原 武氏は新規ということに

なります。専任分野、経歴等については備考欄にそれぞれございますけれども、学校教育関係、家庭教育・青少年教育関係、それから社会教育・スポーツレクリエーション関係というふうに分野として分けて任用したいと考えております。それから次のページにございますけれども、これまで委員でありました又吉 繁氏が今回２期目を終えます。基本的に３期までは任用できるという内部規定がございますけれども、本人から後輩の方に譲りたいということがございまして、辞退をするということで、今回２期で終了、任期満了ということになります。説明は以上でございます。

田端教育長 ありがとうございました。この件について、ご意見、ご質問ありましたらお願いしたいと思います。池原 武氏は備考の経歴にありますとおり、浦添市教育委員会の指導部長、那覇教育事務所の指導課長、学校長、退職校長会の事務局長とかを歴任されていますので、いろいろと幅広い識見を持つ方ということになります。ご意見、ご質問ありますでしょうか。大丈夫でしょうか。それでは議案第１号「那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全員 異議なし。

田端教育長 ありがとうございます。議案第１号「那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について」は、議決いたしました。

それでは以上をもちまして、平成３１年度第１回教育委員会会議（定例会）を終了いたします。

案件の審議結果

議案第１号	那覇市教育事務点検評価委員の委嘱について	原案どおり可決
議案第２号	平成３１年度那覇市一般会計補正予算（６月補正）に関する意見の申し出について	原案どおり可決